

社会福祉法人 仁愛会 後援会

後援会だより

特別号

2018年
7月

社会福祉法人仁愛会後援会は、仁愛会が行う老人福祉事業の円滑なる運営に協力し、社会福祉の増進に貢献することを目的として昭和62年6月4日に発足し、以来31年間にわたり活動してまいりました。

この度、その役割を終えたと判断し、平成30年度を持って解散の運びとなりました。解散にあたり、これまで沢山のご協力を頂きました皆様にお礼を申し上げますとともに、長年に渡り後援会の会長を務めていただきました磯上佐太彦様、並びに社会福祉法人仁愛会理事長織内素生よりご挨拶を頂きました。

社会福祉法人仁愛会 後援会の解散に寄せて



社会福祉法人仁愛会 後援会
会長 磯上 佐太彦

九州北部や四国、中国地方を襲った集中豪雨により甚大な被害を被られた皆様にご心痛をお悔やみとお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧復興を願うものであります。

後援会の歩みは、 高砂荘の歩み



社会福祉法人仁愛会
理事長 織内 素生

仁愛会後援会のこれまでの歩みは、とりもなおさず高砂荘の歩みと言っても過言ではありません。

昭和62年4月1日特別養護老人ホーム高砂荘50床・シヨール

また、日本列島は連日35度を超す猛暑日が続いており、熱中症により亡くなる方や病人に搬送される方が増えております。皆様には、猛暑の中、くれぐれもご自愛の上ご健康に留意されてお過ごしになれますようお願いいたします。

さて、この度、諸般の事情により31年間続いた社会福祉法人仁愛会後援会が解散することになりました。私はこれまで副会長として2年、会長として29年の間、会員の皆様と一緒に、施設の利用者や入所者が少しでも楽しく有意義に過ごせるようにと、いろいろな活動をしてまいりました。

高砂荘の夏まつり、白鳥の里の植樹祭、テレビやエアコンなどの贈呈、機関紙の発行、各施設の見学、副会長生田目柳子氏による上遠野婦人会の奉仕など、振り返ってみると懐かしく思い出されます。私の力不足により、充分な活動ができませんでしたが、会員皆様のご支援ご協力により、恙無く任務を終えることができましたことに、改めて御礼と感謝を申し上げます。

後援会は解散しても、仁愛会はこれからも引続き運営されて参ります。仁愛会の益々の発展と、皆様のご健勝ご多幸をお祈りしてご挨拶いたします。

トステイ3床にて、父の残してくれた遠野の台地にオープンしましてから31年の月日が経ちました。その間80床増床・シヨールトステイ10床の陣容にて、常磐・遠野地区の福祉を支えてきたという自負がありますが、思い起こしますと、すべての歩みの中で後援会様からの温かい御寄贈、ボランティアの数々がありました。

お陰様にて、法制度や高齢者を取り巻く環境は大激変しておりますが、その流れの中でも一貫して、入所されているお年寄りの楽しみ・生きがいを尊重していた、いただいたご寄贈の数々、お一人おひとりの入所の皆様の気持ち

に灯をつけ続けてくださったことに感謝と敬意を深く胸に刻んでおります。

とりわけ上遠野婦人会様による、緩んだゴム紐の取り換え、繕い物の活動、お茶席、昔話等のお話等は、余裕のないスタッフでは叶えられないことでありますので、紙面を以て厚く御礼申し上げます。

これからも気軽に立ち寄りいただいて、入所されている皆様とお話等していただけたら大変有難く存じます。本当に永い間有難うございました。そして、これからもよろしく願い申し上げます。